

拝啓 本夕は私のために、皆さんお忙しい中、送別会を開いてくださり、ありがとうございます。会にご参加くださった方々はもとより、ご都合でおいでいただけなかった方も含めて、皆さんのお顔を思い浮べ、お一方お一方にお礼をしながら、この手紙を書いています。

さしたる力のない私が、大過なく職務を遂行できましたのは、すべて皆さんのお力添えのたまものと思っております。したがって、お礼の会を催すべきは、本来私の方であります。

それにもかかわらず、あのような盛大で心あたたまる会を開いてくださり、本当に申し訳ございません。皆さんのご芳情をひしひしと感じ、心の中で感涙にむせんでおりました。

ひとまず皆さんとはお別れとなりますが、どうか今後とも末永いご交誼をたまわりますよう、お願い申し上げます。

まずは書面にて、お礼まで申し送ります。

敬具